

所在地：静岡県富士宮市麓156  
 実施者：株式会社ふもとつぱら  
 連絡先：（TEL）0544-52-2112  
 （mail）info@fumotoppara.net  
 URL：https://fumotoppara.net/

# 11 キャンプ場を核にした森林活用等と一体となった林業経営 「ふもとつぱら」（静岡県富士宮市）

- 社有林周辺の農場・施設をオートキャンプ場としてリニューアル。野外フェスの会場として使用することで認知度が向上。
- 利用者への森林・林業への理解を深めるため、林道・作業道でのマウンテンバイク・セグウェイ等のプログラムを行う他、野外フェス等においては、林業機械の展示や講演会・体験会などを実施して、キャンプ場来訪者への森林・林業の普及啓発も実施。
- 間伐材の薪の販売、ジビエ肉加工場整備、所有林の木材を使った宿泊施設等の新設・改修等により、林業経営と一体的に事業運営。

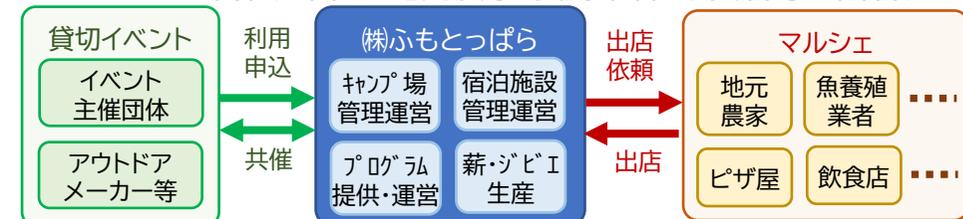
## ● 取組の経緯

「ふもとつぱら」は、富士山西麓に500ha超の山林を有する江戸時代からの專業林家。東京農業大学と連携して「富士森林施業技術研究所」を開設して、先導的に調査研究・技術指導・普及啓発等を実施。

2003年 社有林内での企業の森（テルモ社）の開始  
 2005年 「株ふもとつぱら」として法人化。  
 2006年 かねてから温めていた構想であるキャンプ場を開設。「すべての人に自然の中の生活を」をコンセプトに運営。  
 2009年 セグウェイ・ツリークライミングプログラム構築  
 2015年 長渕剛のコンサート受入以降、様々な野外フェスの開催地となり、認知度が高まり利用者が増大  
 2017年 コテージ（モデルハウス）新設  
 2018年 富士宮市麓山の家を買受・研修施設として活用、野外映画祭開催、地域材を使い毛無山荘・トイレをリニューアル  
 2019年 木質バイオマスボイラー設置、鹿肉処理場整備

## ● 実施体制・役割分担

- キャンプ場・宿泊施設等の管理運営、セグウェイ・マウンテンバイク等のプログラム提供、薪・ジビエ等の生産は直営で実施
- 野外フェス等のイベント主催者等と連携して貸切イベントを開催
- マルシェは自社運営で、地元農家・養殖業者・飲食店等が出店。



## ● 具体的なプログラム・メニュー

- 富士山を背景にしたロケーション、様々なプログラムの開催が可能な広大な自社有地内の各種施設の存在により、キャンパーの聖地として人気を集めている。
- 森林整備のための作業路をマウンテンバイクやセグウェイの走行路として開放するなど、キャンプ場来訪者を森林へ誘う仕掛けを組み込んでいる。



**主要料金** キャンプ 中学生～1,000円、普通車2,000円、キャンピングカー等4,000円、薪1束500円  
 宿泊施設/コテージ: 25,000円/棟～、毛無山荘: 20,000円/部屋、研修施設: 2,500円～  
 セグウェイツアー: 8,800円、マウンテンバイク: 3,500円(コース走行料・レンタル料)

## ● 実績(2018年)

- キャンプ場利用客数: 68,000サイト(年間15～20万人)
- セグウェイ利用者数: 329名
- キャンプ場での薪消費量: 30,000束
- マウンテンバイク利用者数: 888名
- 林業体験及び林業研修 : 2,010名

#### IV. 受入地域の事例（森林所有者等による新たな利用開拓）

### 11 キャンプ場を核にした森林活用等と一体となった林業経営「ふもとっばら」（静岡県富士宮市）

#### ◎ 特徴1／林業経営を行う森林を、アウトドア活動に活用

- 江戸時代から続く専門林家が、木材生産の場としての林業と、アウトドア等の森林空間利用を統合した、総合的な林業経営を行っている。
- 富士山を背景にした広大な敷地は、イベント開催地としても人気があり、野外フェス、音楽イベント、アウトドアイベント、映画祭などに様々な団体が利用し、さらに「ふもとっばら」の知名度や集客力を向上させている。
- 森林整備のための作業路での「セグウェイ体験ツアー」や「マウンテンバイクパーク」は、キャンプ場来訪者を森林に誘う仕掛けとなっている。
- 野外フェス等においては、林業機械を展示したり、丸太切り体験をしたり、きこりの仕事を紹介するセミナーを開催するなど、林業の普及啓発等の取組も実施。
- キャンプ場利用者への薪販売、バイオマスボイラーの設置、コテージ等の施設での自社生産木材の活用など、本業である林業とキャンプ場の経営がリンクし、本体事業の収益の向上や林産物の利用拡大に繋げている。
- 2003年からは、テルモ(株)がふもとっばら所有林内に「テルモ恵みの森」を設置し、企業のCSRとしての森づくり活動を受け入れている。

#### ◎ 特徴2／木材の需要開拓に向けた取組

- 「ふもとっばら」内に、所有林の木材を使った木造在来工法の「コテージ」を建設し、また、「毛無山荘」をリニューアルするなど、木の家に住む体験により木の温もりを感じてもらい、地元の木材を使った住宅需要につなげる試みをしている。
- さらに、自社産木材を使った伝統工法によるトイレ 兼 多目的施設を設置。キャンプ場や野外フェス来場者に、木材・伝統工法の良さを感じてもらうきっかけとしている。
- 住宅メーカー菊池建設と提携し、大黒柱を選定・伐採するツアーを継続的に開催。

#### 朝霧高原マルシェ



地域の生産者・飲食店を応援する目的で、毎週末開催。

#### 施設内での木材活用 (薪・エネルギー利用)



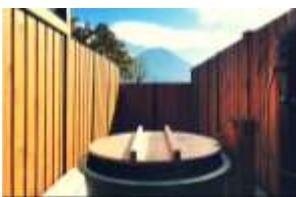
コテージ「毛無山荘」の暖房・大浴場の熱源を木質バイオマスボイラーに転換

#### 企業と協働の森づくり



自社所有林内にテルモ(株)が「テルモ恵みの森」を設定し、森林整備活動を推進（写真出典：テルモ株式会社HP）

#### 在来工法の「コテージ」 地域材を使った「山荘」 ～木の家の体験～



#### 住宅メーカー「菊池建設」による 大黒柱伐採ツアー



出典：菊池建設株式会社HP

#### 草原中央に設置されたトイレ 兼 多目的施設



写真出典：(株)ふもとっばらHP・ブログ及び(株)ふもとっばら業務資料